

第31回技術研究発表会 梗概 <IIプロジェクト・技術報告>

E 共通セッション

【HP 掲載No.D05】

発表No.	E04
タイトル	ソウハツする遊び場としての VIRTUAL SHIZUOKA
所属・名前	静岡県 杉本 直也
キーワード	① 3次元点群データ ② 自動運転 ③ MaaS
<p>オープンデータは市民に還元されるべきという理念のもと、静岡県は3次元点群データで創る仮想県土「VIRTUAL SHIZUOKA」を新たなソフトインフラと位置付け、「Society5.0」時代の現実空間と仮想空間の融合の基盤として機能させるべく、全国に先駆けて3次元点群データの収集・蓄積とオープンデータ化を進めている。</p> <p>地域課題を解決するために新たな「まちづくり」を考える際、現実空間を変えていくためには多大な費用と年月を要するが、3次元点群データで創られた仮想空間に新しい「まち」がデザインされ、VR（仮想現実）等を用いて模擬体験すれば、老若男女、障がいと共に生きる方や健常者を問わず、誰にとっても住みやすい「まち」のあり方を「自分事」として考えるきっかけになると期待している。</p> <p>「VIRTUAL SHIZUOKA」を誰もが自由に使える仮想空間の「遊び場」として提供することで、現実空間に「ソウハツ：早発・双発・創発」を促す取り組みにつなげていく。</p>	